

たからっ子道徳通信

◇乗り入れの道徳の授業が始まりました。

道徳の授業というと本来学級担任が行うものですが、宝立小中学校では、学期に何度か学級担任以外の教師が、道徳の授業を担当します。本校では、これを「乗り入れ道徳」と呼んでいます。通常、担任が1年間の道徳の授業を全て担当するのに対し、「乗り入れ道徳」では、1つの学級に様々な教師が乗り入れて道徳の授業をします。(今年度は各学級6回を予定しています。)

乗り入れ道徳を行うことで、①授業者が変わり、児童生徒の多面的・多角的に物事を考える力を伸ばすことができる。②異なる学級の授業を行うことにより、自分の学年以外の児童生徒理解が深まり、他学年の発達段階を知り、児童生徒への理解を、より深め、指導方法の改善が期待できる。③児童生徒と教師の信頼関係を育むことで、普段気づけていなかった人からの思いやりや愛情を感じる児童生徒の育成ができる。などの効果があります。

児童生徒も普段と違う雰囲気新鮮な気持ちで道徳の授業に臨むことができるのではないのでしょうか。

乗り入れ道徳での児童生徒の様子・・・



(普段と違う雰囲気。新鮮。)
今年から来た新しい先生との
関わりも楽しかったです。
(生徒感想より)



いつも教えてくれる教科の
イメージしかなかったから
新しかったです。
(生徒感想より)

普段とは異なる授業者に新鮮な気持ちで学習できています。授業者も生徒も良い緊張感を持ちながら授業に取り組み、考え議論する道徳を目指します。悩みながらも自分の納得できる答えを探しています。

授業参観についてのご案内

6月14日(火)に本校で授業参観が行われます。今回の授業参観では全学年・全学級で道徳の授業を行います。ぜひ、道徳授業の様子を見ていただきたいと思います。また、各担任からアンケートなどのご依頼があると思いますが、何卒ご協力いただきますようお願いいたします。

学級によっては一緒に参加をお願いすることもあるかと思いますが、是非お子さんたちと一緒に考えていただけたらと思います。よろしくお願いいたします。